

多発性骨髄腫に対する造血幹細胞移植の前処置 L-PAM多量療法

(アルケラン))RPHW_DRPHW\

2019年09月17日 改訂(第7版)

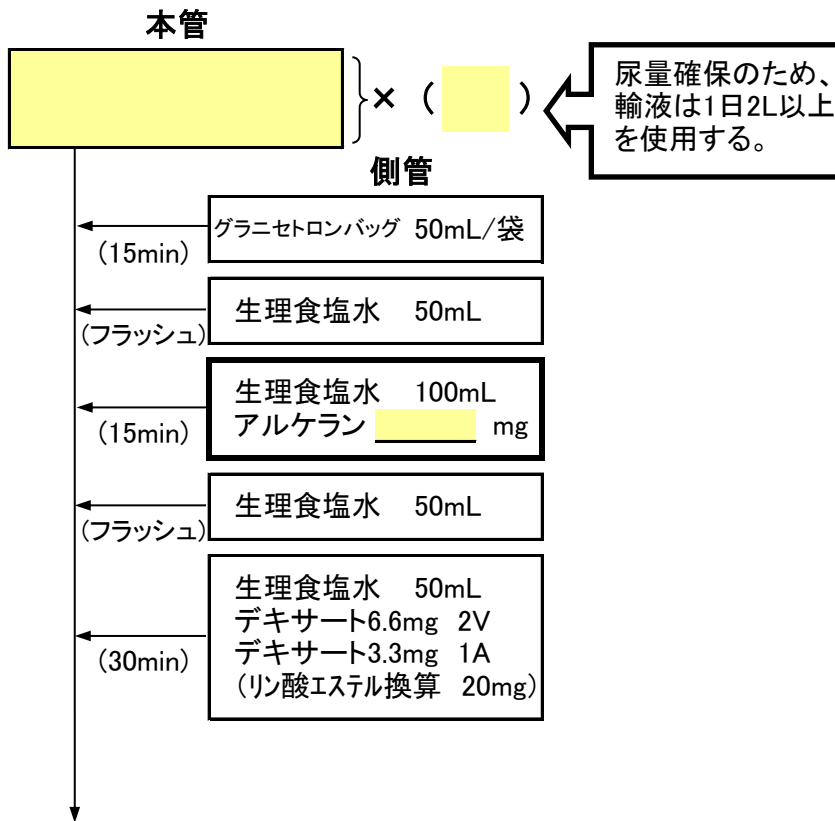
Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 《《SYPID》》	氏名 《《ORIBP_KANJI》》 様	年齢 《《SYAGE》》	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
疾患名	施行予定日 月 日 ~ ()		実施サイクル コース目	【初回】 <input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				【連投時(2回目以降)】 <input type="checkbox"/> 連投可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		

Day1(/) Day2(/)



尿量確保のため、
輸液は1日2L以上
を使用する。

アルケランは調製後
90分以内に投与終
了すること。粘稠の
ため投与前後に生
食で洗い流すこと。

調製開始時間(:)

投与終了時間(:)

投与前日から終了後24時間
は尿量100mL/hを確保す
る。

アルケラン多量療法

標準投与量:
L-PAM 100 mg/m² day1,2